

平成27事業年度

決算報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

長崎県公立大学法人

平成27事業年度 決算報告書

長崎県公立大学法人

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金収入	1,430	1,430	-	
自己収入	1,839	1,801	▲ 38	
授業料、入学料及び検定料収入	1,744	1,751	7	(注1)
雑収入	33	50	17	(注2)
目的積立金取崩	62	-	▲ 62	(注3)
受託研究等収入及び寄附金収入	171	172	1	
計	3,440	3,403	▲ 37	
支出				
業務費	2,950	2,704	▲ 246	
教育研究経費	968	897	▲ 71	(注4)
人件費	1,982	1,808	▲ 174	(注5)
一般管理費	319	307	▲ 12	(注6)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	171	178	7	(注7)
計	3,440	3,189	▲ 251	
収入-支出	-	214	214	

○予算額と決算額の差異について

- (注1) 授業料及び検定料収入については、休退学者が当初見込みを下回ったこと及び受験者数が当初見込みを上回ったことにより、7百万円増加しました。
- (注2) 雑収入については、教員長期研修旅費の返還や落雷被害に対する保険金支払い等により、17百万円増加しました。
- (注3) 目的積立金取崩については、予算の効率的な執行や入札による経費の減等により、目的積立金を取崩さないこととし、62百万円減少しました。
- (注4) 教育研究経費については、予算の効率的な執行や入札による経費の減等により、71百万円減少しました。
- (注5) 人件費については、一部の教員を非常勤として雇用したことから、常勤で雇用する場合との給与格差が生じたこと等により、174百万円減少しました。
- (注6) 一般管理費については、予算の効率的な執行や歳出の抑制に努めたこと等により、12百万円減少しました。
- (注7) 受託研究等経費及び寄附金事業費等については、補助金等の受入が当初見込みを上回ったことにより、7百万円増加しました。

○損益計算書の計上金額と決算額の差異について

- (1) 非常勤講師への謝金及び旅費は、損益計算書では人件費として計上していますが、決算報告書では教育研究経費に計上しています。
- (2) 損益計算書の業務費(教育経費・研究経費・教育研究支援経費)及び一般管理費には、固定資産に係る減価償却費を用途別に各々の経費に計上しています。

○表示単位について

予算額、決算額及び差額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。